

1. 科目名（単位 数）	知的障害教育総論（2単位）	3. 科目番号	SSMP3455 SNMP3455 SCMP3455 SBMP3455
2. 授業担当教員	柳本 雄次		
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本科目では、世界や日本における知的障害教育の歴史、教育的な位置づけ、現代の新しい流れについて関心を広げながら、幅広く学ぶ。特に今後はインクルーシブ教育が重視されていく中で、これからの知的障害教育には何が最も重要になっていくのか、議論を深めていく。また、知的障害の根本的な症状や「困り感」に関する障害理解と、学校教育や教師の役割に関して多様な知識を学んでいく。そのために、機会に応じて生活単元学習、作業学習、日常生活の指導、教科別の指導、自立活動などについて実際の授業映像を見ながら理解を深めていく。さらに、その他の動画、画像、スライドや独自の資料を多用し、わかりやすい説明を心掛けていきたい。		
8. 学習目標	【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。 ① 知的障害児教育の歴史と今日的な課題 ② 知的障害児教育や教師の役割に関する基本的な知識 ③ 知的障害児への様々な指導法と具体的な内容 ④ 知的障害児者をとりまく地域行政や支援		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 授業内容に沿った小テストを13回実施（到達度評価）する。 2. 到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート（手書き）を課す。 3. 小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備する。 4. 予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】小野次朗・上野一彦・藤田継道『よくわかる発達障害（第2版）』ミネルヴァ書房、2010 【参考書】石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育』（第4版）ミネルヴァ書房、2020。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 知的障害教育に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 知的障害児への様々な指導法と具体的な内容を理解し、実際に対処できるようになっているか。 ○評定の方法 以下を総合的に検討し、判断する。 1 積極的参加（発言、討議、態度、シートの取り組み等） 総合点の40％ 2 レポート（模擬授業、テストを含む） 総合点の60％ ＊なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。		
12. 受講生への メッセージ	特別支援教育の中で知的障害教育は、実践と実績は質・量とも最大で中核的位置を占めています。将来特別支援学校の教員を志望する受講生には、実践で活用される知識・技能となることを想定し、積極的に授業に取り組むことを望みます。		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回		事前学習	
		事後学習	知的障害教育の成立条件を理解する。
第2回	知的障害教育の教育課程の特徴	事前学習	教育課程とは何かを調べる。
		事後学習	知的障害教育の教育課程と、通常学校、他の障害種の特別支援学校とのそれとの異同について整理する。
第3回	知的障害教育の教育課程・方法をめぐる歴史的展開	事前学習	歴史的に教育課程・方法の変遷を調べる。
		事後学習	教育課程の類型に基づき、実践の史的背景を把握する。
第4回	知的障害教育の指導形態-合わせた指導(1) —生活単元学習—	事前学習	教科・領域を合わせた指導携帯とは何かを調べる。
		事後学習	生活単元学習の特徴をまとめる。
第5回	知的障害教育の指導形態-合わせた指導(2) —日常生活の指導・遊びの指導—	事前学習	「日常生活の指導」「遊びの指導」の特徴とは何か調べる。
		事後学習	遊び・生活を中心とする幼児教育と近似した知的障害教育の指導形態の意味を考える。
第6回	幼児教育と知的障害児の教育との比較検討	事前学習	幼児教育の特徴(教育要領・保育指針)を調べる。
		事後学習	知的障害教育と幼児教育を比較し整理する。
第7回	知的障害教育の指導形態 —教科等別指導—	事前学習	通常学校の教科・領域別指導との異同を考える。
		事後学習	知的障害教育における教科の特徴を整理し、まとめる。
第8回	重度知的障害児の専門的指導法 —感覚教育の史的系譜からみた—	事前学習	初期発達における感覚教育の意義とは何かを調べる。
		事後学習	イタール・セガン・モンテッソーリの指導法について整理しまとめる。
第9回	自閉症スペクトラム障害の知的障害児への指導法	事前学習	自閉症スペクトラム障害を調べる。
		事後学習	自閉症児の専門的指導法についてまとめる。
第10回	ダウン症児の早期教育と指導法	事前学習	ダウン症とは何か、その発達特性を調べる。
		事後学習	ダウン症の早期教育の意義、指導法についてまとめる。
第11回	知的障害教育の指導形態-合わせた指導(3) —作業学習・職業教育・進路指導—	事前学習	就労移行支援に関係する機関との連携、学校の進路指導について調べる。
		事後学習	作業学習・職業教育の特徴、福祉的就労についてまとめる。
第12回	知的障害教育の授業づくりと評価・改善	事前学習	知的障害教育の授業づくりの特徴を調べておく。
		事後学習	個別の指導計画の作成の意義は何か、整理する。授業の評価・改善について調べる。
第13回	知的障害教育における自立活動の指導	事前学習	知的障害教育の自立活動とは何かを調べる。
		事後学習	知的障害教育の合わせた指導形態と自立活動の指導のあり方を調べる。
第14回	知的障害児者をとりまく地域支援の現状と	事前学習	地域の関係機関(早期療育～福祉・就労の各種施設)の現状を調べる。

	課題	事後学習	地域の関係機関の支援体制構築の課題について考え、まとめる。
第 1 5 回	インクルーシブ教育時代における知的障害教育の対応	事前学習	インクルーシブ教育とは何かを、知的障害教育の視点から考える。
		事後学習	インクルーシブ教育システムにおいて、知的障害教育の普遍性と独自性について論じる。
期末試験			